



北海道大学  
工学部環境社会工学科  
建築都市コース  
2023年度卒業設計  
非常勤講師奨励賞  
黒田七彩君  
[ 時の堆積 ]

あなたは2023年度卒業設計において  
今後の更なる精励を非常勤講師より期待されました  
その選の言葉を記しこれを賞します

令和6年3月25日

炭鉱遺産、地域の想いに向き合った誠実な建築で、丁寧に手を加えたダイナミックな空間は心に訴えかける説得力がありました。今後も自身の信念を強く持ち、建築と向き合っていてください。  
池村 菜々

場所に眠る過去の蓄積と向き合い大胆な提案に帰着できたことは、卒業設計として評価に値すると思います。今後のご活躍を期待します。  
石黒 卓

土地の歴史や生活している人々の思いを繋いでいこうという強い思いを感じました。その感覚はとても大切なことです。卒業してもこの思いを大事にしてください。  
大槻 政洋

建築の力を信じ、地域のために出来ることを真剣に模索する姿勢に感銘を受けました。  
小倉 寛征

建築が可能な事のひとつとして「つなげる」ことがあります。時をつなげること(過去・現在・未来)は其中でも困難なものだと思います。その困難に立ち向かいあきらめず形にしたことは賞賛に値すると思います。  
菊池 規雄

既存建物への丁寧な減築・増築、新旧素材の精密な模型表現など、自分なりのリアリティに徹している部分に好感が持てました。現代アートの文脈や周辺環境の計画が加わるとさらにより提案になるかも。おめでとう！  
佐々木 夕介

こつこつ丁寧な調査と思考を評価します。  
田宮 功三

地域の歴史である炭坑遺産の継承と活用へ、その可能性を建築を介して拡張していこうという姿勢を評価しました。建築図面や模型も細部まで丁寧に作られていて好感が持てました。そうした地道な取り組みを継続出来た経験を活かし、次のステップへ歩んでいかれることを願っています。  
堀尾 浩

題材、図面、模型、過程のレベルが総じて高く推しました。インパクトや欲望の発露に物足りなさがあり学内の賞には及びませんでした。自分が信じた設計への取り組み方を大切にしてこれからも頑張ってください。  
村國 健

